

令和4年度 第9回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和5年3月22日(水) 19:00開始

2. 場 所 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 理事17名中14名、監事1名

(理事) 三須 和泰、石川 伸男、渡辺 健一、多氣 洋平、奥田 竜子
柿田 亜矢子、奥田 好廣、安枝 和子、久保 克敏、高瀬 美保、
箸本 明雄、桜木 由美子、埴岡 隆、小林 真由美、
(監事) 田中 誠

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

- (1) 坂本事務局長が、理事17名の内14名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。
- (2) 定款第38条に基づき三須和泰代表理事が議長に選出された。
- (3) 議長から、理事及び監事以外の本会議出席者として、萬納 宏俊財務総括部長、吉満 直之事務局次長、内山 耕一事務局員の承認を求めたところ、異議無く、承認された。
- (4) Zoom会議により出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 令和4年度事業報告・令和5年度事業計画/年間スケールについて

石川専務理事から配布されている資料にもとづき説明が行われた。なお戦略統括本部「関連団体統括部」に記載の「加盟団体規定の新設」については、5月の理事会であらためて上程するとの説明があった。また強化本部の事業計画については、4月に助成金額が確定次第、その範囲内で計画を見直すとの説明があった。議長から承認を求めたところ、異議なく、承認された。

② 第二号議案 令和5年度当初予算について

内山事務局員から配布されている資料にもとづき説明が行われた。なお、強化育成本部はオリンピック予選、ジュニアワールドカップ予選の金額をまだ見込んでいないため、それ以外で削減を検討できないかを依頼しているとの説明があった。選手の自己負担金については、本部一任ではなく、上限を決めるなど慎重に議論していくこととなった。議長から第二号議案の承認を求めたところ、異議無く、承認された。

③ 第三号議案 規程類の改定・改正について

石川専務理事から決裁規程の制定について、配布されている資料にもとづき説明が行われた。続いて就業規則・賃金規程・退職金規程（改正）について萬納財務総括部長より説明が行われた。続いて、奥田竜子理事より、コンプライアンス規程・倫理規程（改正）について説明が行われた。さらに登録規程（改正）について、坂本事務局長より説明が行われた。登録種別について「インドア」は今後検討していく旨の説明があった。議長から第三号議案の承認を求めたところ、異議無く、承認された。

④ 第四号議案 事業本部の人事について

石川専務理事、箸本理事から渡辺業務執行理事の事業本部長等の役職辞任について報告が行われた。石川専務理事より、事業本部長の後任として、事業本部イベントマネジメント部副部長の中村真理氏を推薦する旨の提案があった。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑤ 第五号議案 事務局長の雇用契約について

石川専務理事から坂本事務局長の雇用契約について、配布されている資料にもとづき説明が行われた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑥ 第六号議案 各本部・委員会の部員・委員について

石川専務理事から配布されている資料にもとづき説明が行われた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑦ 第七号議案 日本スポーツ協会（JSP0）の評議員、および JOC の理事 / 評議員について

石川専務理事から配布されている資料にもとづき説明が行われた。JSP0 理事については（書類提出期限が 2 月 28 日であったため）業務執行理事会で審議の上、奥田竜子理事の推薦書類を提出済み（坂本事務局長が理事へメールで報告済み）JSP0 評議員には、石川専務理事、JOC 理事には中村真理事業本部長、JOC 評議員には北野妙子副会長を推薦する旨の提案があった。JOC の理事には、比較的若いオリンピックを推薦する他団体もあるとの意見に対して、業務執行理事会では総合的に判断して中村真理事業本部長を推薦するとの説明がなされた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑧ 第八号議案 正会員数について

坂本事務局長から配布されている資料にもとづき説明が行われた。正会員数は、令和 4 年度の 108 名から 5 名増の令和 5 年度 113 名になり、定時総会（6/17）での議決権は 113 名となる。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑨ 第九号議案 男女全日本選手権での表示灯杯の新設について

議長から坂本事務局長が指名され、配布されている資料にもとづき説明が行われた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑩ 第十号議案 東京都競馬株式会社との社会共創パートナー契約の締結について

坂本事務局長、柿田理事から配布されている資料にもとづき説明が行われた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

⑪ 第十一号議案 旅行会社との関係強化について

坂本事務局長から配布されている資料にもとづき説明が行われた。議長から承認を求めたところ、異議無く、承認された。

7. 報告事項

①全日本中学生ホッケー選手権大会及びブロック大会における地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の大会参加について

久保理事から配布されている資料にもとづき報告が行われた。

②アジアホッケー連盟総会について

坂本事務局長から、アジアホッケー連盟総会は3月24日に行われるが、前回の理事会で承認された通り、会長に小倉文雄氏（現AHF会長、FIH理事）、財務会計役に近藤聡史氏（現JHA事業本部副本部長）、理事に安西浩哉氏（現FIH理事、JHA国際部長）を推薦しているが、選挙は無くそのまま決まる予定との報告があった。また、今回、「AHF Player of the Year Award」の「The Player of the Year for 2021 - 2022」にCCRSの浅井悠由選手が選出され、3/24の韓国での表彰式に出席する予定との報告が行われた。

③ENEOSからの協賛について

坂本事務局長から配布されている資料にもとづき説明が行われた。ENEOSとはJOCを通して協議を行ってきたもので、「アンダーカテゴリー日本代表支援事業」及び「夢見るホッケー教室事業」を2023年から2年間支援いただくことが決まった旨報告された。

④令和5年度会議日程

坂本事務局長から配布されている資料にもとづき、4月以降の会議日

程が報告された。

以上をもってすべての議事の審議を終了し、議長は21時13分、閉会を宣言した。